

## 2019年度全国通訳案内士試験 口述試験の予定内容について

1. 試験時間は全体を通じて10分程度です。
2. 口述試験の進め方は以下の通りです。
  - ① 受験者は、その場で配付される日本語で書かれた3つのカードから1つを選択し、そのテーマについて受験外国語で2分程度のプレゼンテーションを行って下さい。

(例題) 1. 絵馬  
2. 高野山  
3. インスタ映え
  - ② ①のプレゼンテーションの内容について、受験外国語で質問をしますので、受験外国語で回答して下さい。
  - ③ 次に、試験委員が日本語で読み上げる内容について、1分程度で受験外国語に訳して下さい。配付した用紙と筆記用具を用いてメモを取っても構いません。

(例題) 茶道は1杯のお茶で客をもてなす儀式である。茶道では、亭主は決められた作法に従い、ていねいにお茶を用意する。客はその気持ちに応じて、感謝の意を表しながらお茶をいただく。茶道で使われるお茶は抹茶で、和菓子はお茶を飲む前に食べる。
  - ④ ③の内容に関連して、日本語で通訳案内の現場で想定される状況に全国通訳案内士としてどのように対応するかを問います。試験委員をお客様と想定し、受験外国語で受け答えして下さい。

(例題) お客様が茶室に入る前に、茶道には作法や決まり事があると聞いて緊張しています。あなたはお客様に対し、どのように声をかけますか。
3. 2①及び2③の内容は、全国通訳案内士試験ガイドラインにある、日本の地理、歴史並びに産業・経済・政治及び文化についての主要な事柄のうち、外国人観光旅客の関心の強いものを題材とします。なお、上記の出題例は、あくまでも参考例です。
4. 試験委員は2名（原則として、受験外国語母語話者1名、日本語母語話者1名）です。

以上